

V. 新たな経済社会システムの構築

6. 地域・中小企業システム

(1) 第4次産業革命技術等の導入促進

(1) 課題と対応の方向性 第4次産業革命技術等の導入促進

【課題】

(1)第4次産業革命技術(AI、IoT、ビッグデータ、ロボット等)の導入、並びにその前提となるIT化(クラウド、サイバーセキュリティ)が不十分

<参考>

中小企業では、6割弱の会社がITを使っているが、そのうち3分の2が給与、経理業務の内部管理業務向けに導入。収益に直結する、調達、販売、受発注管理などでは、ITを使っている企業のうちでも3分の1程度に留まっている。

【対応の方向性】

(1)生産性向上につながる第4次産業革命技術の導入や、事業のIT化を促進する制度的枠組みを検討

【当面の取組】

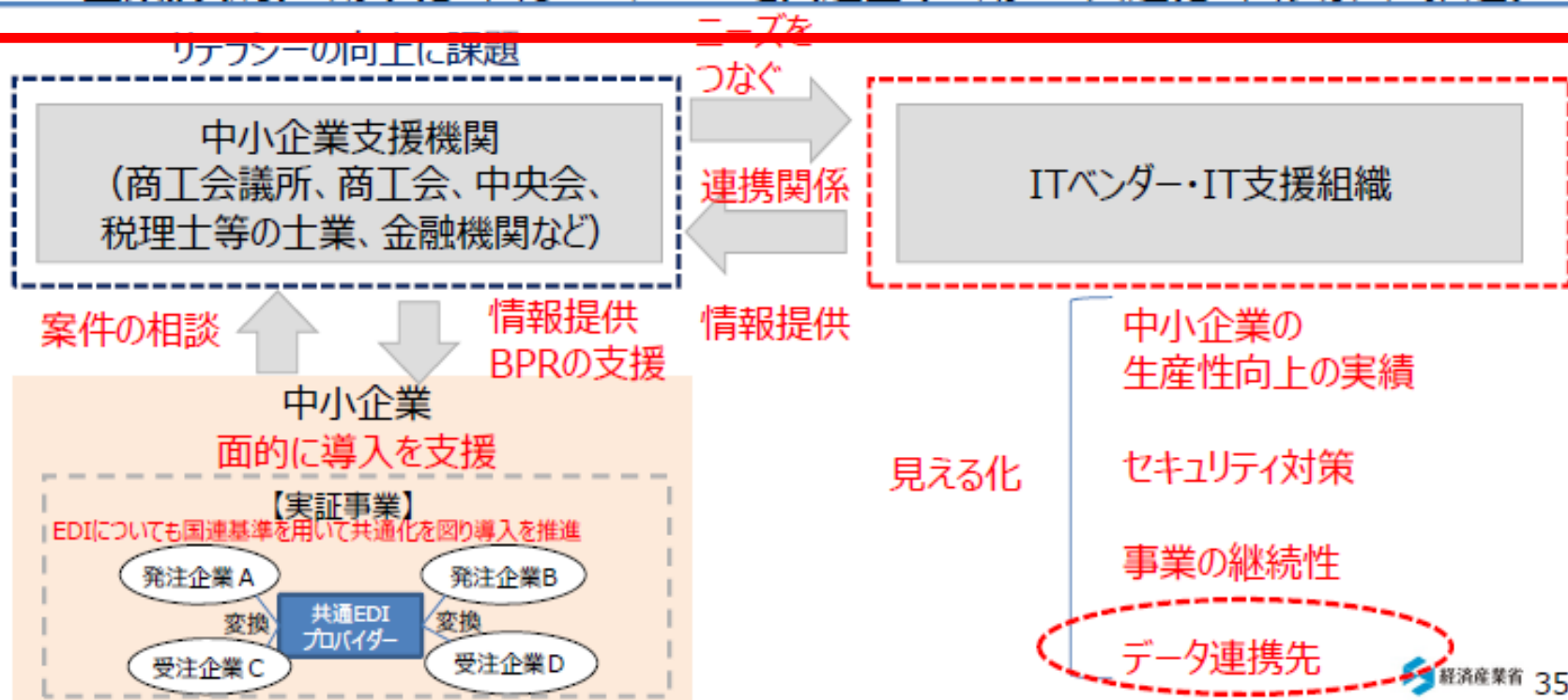
- 中小企業等経営強化法に基づく事業分野別指針(14分野)の活用によるAI・IoT等の実装の加速化
- 地域未来投資促進法による、地域経済を牽引する事業の促進
- AI・IoT等を用いた技術開発支援の検討
- **企業間データ連携プラットフォームによる共通EDIの実証**
- 中小企業等におけるIT化の促進
 - － 中小企業にとって身近な商工会・商工会議所や地銀等の中小企業支援機関と、中小企業のIT化を担うITベンダー・IT支援組織との連携を促進する枠組みを構築し、中小企業のIT導入やセキュリティの向上を図る
 - ※これにより、中小企業が、いかなるクラウドサービス等のITツールを利用すれば、どのくらい生産性が向上するか、API連携の状況など、具体的に理解できるよう見える化

【既存の取組(例)】

- 例1.中小企業のIT導入に係る1万社支援(IT関連の専門家等派遣事業等)
- 例2.IT導入補助金(補助対象:ソフトウェア、サービス導入費)

(参考) 中小企業・小規模事業者の「スマート化」に向けた環境整備

- 中小企業のIT化を促進するため、以下の公的な枠組みを検討。
- 商工会・商工会議所や地銀等の中小企業支援機関とITベンダー、IT支援組織の連携関係を促進。
- ITベンダー、IT支援組織による中小企業の生産性向上の実績、事業の継続性、セキュリティ対策の見える化を進める。
- ITベンダーには「Connected Industries」を実現するため、APIを含めたデータ連携を促進。
- 企業間取引の効率化を図るため、EDIを国連基準を用いて共通化を図り導入を推進。



(参考) 中小製造業へのIoT導入支援～スマートものづくり応援隊～

- 中小企業にとっては、IoT・ロボットなど技術の説明よりも、自社の課題の解決に関心。業務をどう改善するか、その際、技術をどう活用すればよいか、アドバイスが欲しい。
- このため、中小製造業が経営課題の解決に向けた対応したIoT導入を相談できる「スマートものづくり応援隊」の整備を2016年度から開始。2017年度は、全国21拠点で展開、今後2年以内で全国40か所の設置を目指す。
- あわせて、中小企業にロボット導入を提案・支援する「システムインテグレータ」を2020年までに3万人に倍増させる育成強化策を進める。

